

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第2区分  
 【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2001-116094(P2001-116094A)

【公開日】平成13年4月27日(2001.4.27)

【出願番号】特願平11-295863

【国際特許分類第7版】

F 1 6 H 7/18

F 0 2 B 67/06

F 1 6 H 7/08

【F I】

F 1 6 H 7/18 B

F 0 2 B 67/06 C

F 1 6 H 7/08 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月15日(2005.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2次平面的に交差する少なくとも2つのチェーンを備え、この2つのチェーンが交差する位置の近傍に、該2つのチェーンに対するチェーンガイドを一体に形成し配設したチェーン駆動装置において、

上記チェーンガイドは、一方のチェーンに沿って2つの取付孔を有し、該2つの取付孔のうち上記2つのチェーンが交差する位置から遠い一方の取付孔を、上記一方のチェーンの走行軌道に沿った長孔形状に形成し、他方の取付孔を、位置決め可能な大きさの丸孔形状に形成したことを特徴とするチェーン駆動装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため請求項1記載の発明によるチェーン駆動装置は、2次平面的に交差する少なくとも2つのチェーンを備え、この2つのチェーンが交差する位置の近傍に、該2つのチェーンに対するチェーンガイドを一体に形成し配設したチェーン駆動装置において、上記チェーンガイドは、一方のチェーンに沿って2つの取付孔を有し、該2つの取付孔のうち上記2つのチェーンが交差する位置から遠い一方の取付孔を、上記一方のチェーンの走行軌道に沿った長孔形状に形成し、他方の取付孔を、位置決め可能な大きさの丸孔形状に形成したことを特徴とする。このため、上記2つのチェーンは、互いに交差するチェーン軌道では、一体に形成されたチェーンガイドでそれぞれガイドされ、このチェーンガイドによりチェーン軌道の既定、チェーンのばたつきの防止、或いはチェーンへのテンション付加等の作用が得られる。そして、チェーンガイドは、一体に形成されているため、部品点数が増加することが無く、また、1つのチェーンガイドを取り付ければ、そ

れぞれにチェーンガイドを取り付ける作業行程も必要ないため取付作業工程が増加することもない。また、丸孔形状の他方の取付孔により、位置決めができ、長孔形状の一方の取付孔により、一方のチェーンに沿った方向で正確な位置決めができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

更に、上記右側インテークカムスプロケット10Rとスプロケット13Rとの間のチェーン軌道上に配設される右上部チェーンガイド27は、チェーン軌道の既定、チェーンのばたつきの防止を主な役割として配設され、また、このチェーン軌道が若干長いことから、チェーン軌道を押し込むように接している。